

平成20年11月10日

各 位

上場会社名 三菱マテリアル株式会社
代表者 取締役社長 井手 明彦
(コード番号 5711)
問合せ先責任者 広報・IR室副室長 鈴木 徹
(TEL 03-5252-5206)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,527,000	84,000	100,000	50,000	39.40
今回発表予想(B)	1,520,000	65,000	80,000	25,000	19.70
増減額(B-A)	△7,000	△19,000	△20,000	△25,000	———
増減率(%)	△0.5	△22.6	△20.0	△50.0	———
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	1,659,286	100,146	135,984	74,268	59.14

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	780,000	24,000	41,000	22,000	17.34
今回発表予想(B)	770,000	14,000	38,000	10,000	7.88
増減額(B-A)	△10,000	△10,000	△3,000	△12,000	———
増減率(%)	△1.3	△41.7	△7.3	△54.5	———
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	922,546	34,413	53,609	26,814	21.35

修正の理由

個別業績につきましては、9月以降、急激な円高、銅価の急落、株価の下落等外部環境は劇的に悪化してきており、自動車・半導体向け等の需要減退の影響も相俟って、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益全てが前回予想に比べ減少する見込みであります。

また、連結業績につきましても、個別業績の悪化に加え、米国景気後退に伴うセメント需要の減少や、持分法適用関連会社の半導体向け需要減退等による業績悪化もあり、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益全てが前回予想に比べ減少する見込みであります。

(注)上記の予想につきましては、発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後の様々な要因等により、予想と異なる結果となる可能性があります。

以 上